

東京大学公共政策セミナー

「ウィリアム・バーンズ 米国国務副長官講演会」について

バーンズ米国国務副長官の来日にあたり、第 66 回公共政策セミナーとして標記講演会を開催します。

東京大学公共政策セミナーは、東京大学公共政策大学院の主催により、政策決定の中枢にいる政治家、国家機関幹部などによる講演を学生が直接聴講できる機会として開催しているものです。

記

1. 講演者 ウィリアム・バーンズ 米国国務副長官
2. 演題 「The Enduring Value of the U.S. - Japan Alliance
(今後の日米関係について)」(日本語は仮題)
3. 日時 平成 23 年 10 月 27 日(木)16:30～17:10
※受付は 15:30～16:00 までに済ませること。
4. 場所 本郷キャンパス 小柴ホール(理学系研究科)
5. 対象者 本学学生
6. 言語 英語(同時通訳あり)
7. 注意事項
 - (1)遅刻者の入室は出来ません。
 - (2)聴講希望者は、当日、学生証を受付にて提示して頂きます。
 - (3)当日の荷物は筆記用具等のみとしてください。その他の物については受付にて預からせていただく場合があります。

参加希望の学生は、以下の URL のから直接申し込みをしてください。

公共政策セミナー

<http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/seminar/2011-10-27/index.htm>



ウィリアム・J・バーンズ

米国国務副長官

2011年7月現職就任。コロンビア特別区出身。公使級上級外交官。

現職以前は、2008年から2011年まで国務次官（政務担当）、2005年から2008年まで駐ロシア連邦大使、2001年から2005年まで近東担当国務次官補、1998年から2001年まで駐ヨルダン大使を務める。それ以前は、1982年の入省以来、国務省事務秘書官兼国務長官特別補佐官、在モスクワ米国大使館政務担当公使、国務省政策企画局代理局長兼筆頭局長代理、大統領特別補佐官兼国家安全保障会議近東・南アジア問題担当上級部長等を歴任。

ラサール大学学士号（歴史）を取得し、マーシャル研究者として学んだオックスフォード大学より国際関係論の哲学修士号及び哲学博士号を取得。この他、三つの名誉博士号も授与された。著作に「1955年-1981年 対エジプト経済援助と米国政策」（ニューヨーク州立大学出版、1985年）がある。ロシア語、アラビア語、フランス語を話す。二つの大統領功労賞を受賞の他、国務省より次の通り数々の賞を受賞。二つの特別栄誉賞、貿易開発構想と成功への2006年チャールズ・E・コブ・ジュニア大使賞、2005年ロバート・C・フレイシャー記念賞、ジェームズ・クレメント・ダン賞、この他に五つの優秀栄誉賞等。1994年、「タイム誌」の「最も有望な40歳未満の米国指導者50人」及び同誌の「世界の若手指導者100人」の一人としてそれぞれ選ばれる。